

平成27年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について【学校版：様式】(案)

津山市立加茂中学校

教育目標(めざす児童生徒像)

教育目標 「心豊かで主体的に学びたくましく生きる生徒の育成」

目指す生徒像

- 1 豊かな心を持ち、個性を伸ばし、目標に向かって粘り強く努力のできる生徒
- 2 自他の生命や人権を尊重し、思いやりを持って、互いを認め合う生徒
- 3 自ら考え、判断し行動することのできる生徒

今年度の指導の重点

教師と生徒の人間的なふれあいを深め、信頼感に基づいた実践により、基礎学力の充実を図ると共に、個性を生かし、人間性豊かな生徒を育成する。

- |             |            |             |
|-------------|------------|-------------|
| 1 学習指導の充実   | 4 人権教育の充実  | 7 特別支援教育の充実 |
| 2 生徒指導の充実   | 5 道徳教育の充実  |             |
| 3 キャリア教育の充実 | 6 生徒会活動の充実 |             |

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】 学力調査 %:正解率

全国(中学校)

国語A・B共に県平均とは同レベルであったが、全国平均より低かった。  
 数学Aは県平均と同レベルであったが、全国平均より低かった。数学Bは県平均より上回っていた。全国平均とは同レベルであった。  
 理科は県平均より高かったが全国平均とは同レベルであった  
 国語Aは漢字を書く・読むは高いが、語句の意味を理解することや文脈の中で適切に使うことが苦手である。読む能力を高めることが必要。  
 漢字を書く本校83.9%県70.4%、漢字を読む本校100%県70.3%。適切な語句を選択する(たなびく青い、青さの品詞本校41.9%県63.2%)  
 国語Bは目的に応じて文章を要約することは高いが、複数の資料から適切な情報を得て自分の考えを書くことが苦手である。  
 ウェブページの文章内容・言葉として適切な物を選択 本校87.1%県80.1%。資料を参考にして2020年～自分の考えを書く 本校6.5%県20.9%  
 数学Aは関数の領域については県平均より高くなった。しかし、資料の整理では大きく下回った。  
 関数領域 本校64.3%県59.3%全国61.7% 資料の整理 本校57.3%県62.7%全国63.3% yが の関数でないものを選ぶ本校90% 県78.2%  
 数学Bは数と式と関数領域、数学的な考え方及び記述の面で県平均と全国平均を上回った。資料の活用は下回り、今後の課題である。  
 中心角の大きさ と半径長さ)の間の関係について正しい記述を選ぶ 本校51%県43% 割合を求める式を考える 本校22.6% 県34.3%  
 理科は化学的領域と観察実験の技能を除いて県平均と全国平均を上回った。  
 知識に関する問題 本校67.3% 県62.5 全国63.8%と大きく上回った。観察・実験の技能と化学的領域は約5%下回った。  
 天気図から風力を読みとる 本校90.3% 県75.5% 音が高くなった根拠として正しいものを選ぶ本校29.0% 県40.4

県(中学校)

4教科全てにおいて、全て県平均を下回った。全体的に基礎学力の定着の強化が必要である。  
 特に、数学と社会の基礎・活用が大きく下回っている。  
 国語は「漢字の読み」「説明文の読み」など「読む能力」がかなり低い。「漢字の書き」は県平均を上回っている。  
 社会は「歴史の分野」が大きく下回った。地理の分野は県平均と同レベルである。

【学力状況調査の結果】 生徒質問紙

全国

○朝食・早起きや学校でのきまりを守ることなどの生活習慣はついてきている。  
 ○いじめは悪いことだと分かっている生徒は多く、さらに人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている生徒が多い。  
 ○授業では、グループや班での学習で、生徒同士で話し合ったり、自分の考えをしっかりと発表する機会があると感じている  
 ○学習の目標が示されたり、学習の振り返りの活動をしていると思っている生徒が90%とすごく多い  
 ○全教科について、将来に役立ったり、勉強が大切だと思っている生徒が多い。  
 ○学校が楽しいと感じている生徒がかなり高い。授業にも積極的に活動しようとしている面が高い  
 スマートフォンの使用時間が2～3時間の生徒が多い。  
 1年生  
 予習や宿題は県平均より高い。  
 地域行事への参加などが高まっている。  
 家庭学習以外の読書などは県平均より高い。  
 4教科が好きな生徒が昨年より高まってきている。  
 あいさつ運動に取り組んでおり、「あいさつ」の項目が県平均より高い。  
 家庭学習の時間や読書の時間が県・全国に比べ少ない。予習や復習が十分でなく低い。  
 感想や説明を言ったり書いたりすることが苦手な生徒が多い。表現力・説明力を高める必要がある。  
 読書が好きな生徒が低い。その結果読む力が養われていない。  
 1年生では「何のために勉強するのか」それを考えて取り組む生徒が少なかった。  
 1年生  
 学習のまとめ振り返りがなされていない。  
 話し合い活動、説明・表現力を培う活動をしてきたと感じる生徒が少ない  
 今の学習が将来に役立つと思っている生徒が、県平均より低い。

成果と課題

学習面では学力の定着は県レベルである。おおむね基礎基本が定着している  
 グループや班での学習で、「話し合い・教えあい」学習の学習ができています。  
 学校生活に充実感を持ち、学習に対しても素直に前向きに活動しようとしている。  
 学習規律を守り、授業や活動に対し真剣に積極的にやり抜く姿勢がある。  
 生徒同士の人間関係が良好であり、学校に対して良い印象を持っている。  
 朝食・睡眠・起床など、基本的な生活習慣ができています。  
 家庭でのスマートフォンの利用時間が2～3時間の生徒の利用を考えさせる必要がある。(家庭学習との関連)  
 「活用」を高めるためには「読みとる能力、説明力・表現力」を高める必要がある。(読み・書き)  
 家庭学習の充実を高め、授業や基礎基本の定着に役立てるよう必要がある。  
 記述問題や説明問題など「思考・判断」する力を高める必要がある。

課題に対応した改善方法

表現力・説明力・活用力を高める。(アクティブラーニングを取り入れた授業法)  
 岡山県学習スタンダードを基盤にした「加茂スタンダードの徹底・・・本時の目標や授業の流れや計画の提示・まとめ・振り返り  
 基礎基本の定着(前時の想起、予習復習、効果的なプリントやワークの取り組み)  
 補充学習の充実(3年放課後学習・・・11月5教科、全学年課題提出100%)  
 小中を通しての授業規律の徹底をはかる。(小中連携)  
 授業や定期テスト・単元終了時の振り返りの充実(単元テスト、レポート、まちがい直し等)  
 到達度テストを利用した、学習内容定着度の状況把握。

取組の検証方法及び検証時期

チャレンジテスト(1学期国語、2学期英語、3学期数学)  
 朝学習、効果的なポイントの反復学習(プリント・問題集)での基礎基本の充実。(毎時間)  
 授業振り返りシートの活用(単元ごと・毎学期)  
 研究授業による授業改善や授業法の研究(毎月の校内研修)  
 学力定着状況確かめテスト(2年、2学期・3学期)及び学習到達度テストの活用(学期または単元)  
 生徒質問紙を活用した、各教科のアンケート調査の実施での状況把握(各学期)

平成28年度津山市達成目標に対する具体的な目標(数値目標等)

全国学力状況調査では全国平均と同レベルまで引き上げる。  
 岡山県学力調査では県平均を5%上回る。  
 家庭学習の時間が2時間以上の生徒が70%以上になるようにする。  
 加茂スタンダードの徹底(授業の振り返り、テストやプリント単元の振り返りを全教科徹底する)  
 アクティブラーニングの授業法の研究と実践を推進していく。